



労働力確保支援 センターだより

第31号

発行：公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
平成30年2月発行



写真説明：(左上) 森林・林業担い手育成事業での丸太輪切り実習の様子
(右上) 緑の雇用現場技能者育成推進事業のFW 1「造材集材作業」
(左下) 林業人材育成研修会小田桐師範と研修生 (右下) 同左事業の先崎講師と研修生



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

目次

平成29年度林業事業体等における林業労働実態調査より・・・	2
平成29年度新規就業者の就業実態と就業意識調査より・・・	3
森林・林業担い手育成事業の実施・・・	4
就労者のキャリア形成に向けての取り組み・・・	5
「緑の雇用」現場技能者育成推進事業について・・・	6

林業就業支援講習(12日間)を開催・・・	11
森林作業道作設研修会を開催・・・	14
「森林の仕事ガイダンス2018」に参加・・・	16
平成30年認定林業事業体現場作業員採用計画・・・	18
福島県認定事業体一覧表(流域別)・・・	19
福島県認定事業体位置図(流域別)・・・	20

平成29年度「林業事業体等における 林業労働実態調査」より

このアンケート調査は、毎年、林業雇用管理改善を効率的に推進するための資料とすることを目的として、全国森林組合連合会が実施しています。

47都道府県各林業労働力確保支援センター等の各林業就業支援地域アドバイザーに、3事業体等を任意選定依頼し計141事業体等を対象に、実施しています。対象期間は平成29年6月26日から11月14日です。

本県でも浜通り地方1事業体、中通り地方2事業体の計3事業体で調査を行っています。

抽出での調査で、毎年の経年変化の把握の意図もありますが、全国の傾向を知る貴重な資料です。

今回は紙面の関係から、その一部を抜粋して内容を紹介します。

林業事業体等の概要

- (1) 調査対象の141事業体等に従事している役職員及び作業員の総数は5,196名となっています。その内、作業員数は2,895名（56%）であり、1事業体等当たりの平均作業員数は21名となっています。
- (2) 事業体等の経営形態をみると、森林組合が45%、民間会社が48%となっています。

役 員	職 員	作 業 員	計
1,173名	1,128名	2,895名	5,196名

森林組合	民間会社	そ の 他	計
63所	68所	10所	141所

高性能林業機械の導入状況等

- (1) 高性能林業機械は、調査対象事業体の約91%が保有していました。導入されている機械の内訳は右表のとおりです。
- (2) 高性能林業機械の活用に伴い、作業道の開設が必要となりますが、作業道を開設した事業体等をみると80%であり、総開設距離、1事業体等当たりの作業道距離は下表のとおりです。

機械名	導入台数
グラブプル	493台
フォワーダ	300台
プロセッサ	124台
ハーベスタ	102台
スイングヤーダ	101台
フェラーバンチャ	41台
スキッド	17台
タワーヤーダ	9台
その他	106台
計	1,293台

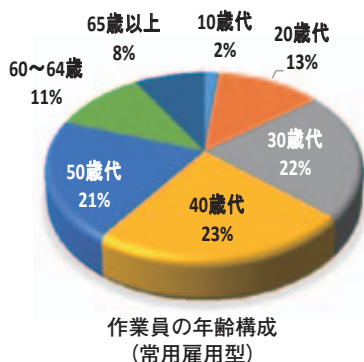
開設した事業体等	開設作業道の距離	平均開設距離	未開設事業体等	事業体等総数
113所	1,388,658m	12,289m	28所	141所

作業員の雇用状況

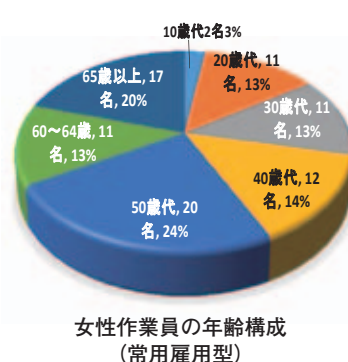
- (1) 作業員の雇用形態をみると、常用雇用型は2,549名88%となっており、有期雇用型は287名10%、日雇型は59名2%となっています。

常用雇用型	有期雇用型	日 雇 型	計
2,549名	287名	59名	2,895名

- (2) 常用雇用の作業員2,549名の年齢構成をみると、40歳代が592名23%で最も多く、次いで30歳代の566名22%、50歳代が527名の21%の順になっています。



- (3) 常用雇用の作業員の男女構成比では、男性2,766名96%に対し女性の割合は129名4%です。女性の年齢構成をみると常用雇用型では、50歳代が20名24%と最も多く、また、50歳以上の割合の合計は48名57%と全体の過半数を占めています。



平成29年度「新規就業者の就業実態と就業意識調査」より

この調査も、前頁同様に全国森林組合連合会が新規就業者141名に対して調査を行ったものです。本県でも浜通り地方から1名、中通り地方から2名の計3名に対して調査を行っています。今回は紙面の関係からその一部を抜粋してその内容を紹介します。

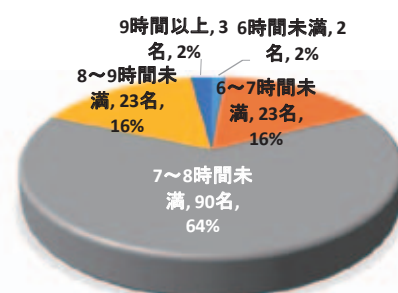
調査の対象（年齢構成）

- (1) 右表の年齢構成をみると、10歳代が13%、20歳代が38%、30歳代が26%と、30歳代以下の若年層が全体の約77%を占めています。就業の種類では、常用雇用型が96%を占めています。

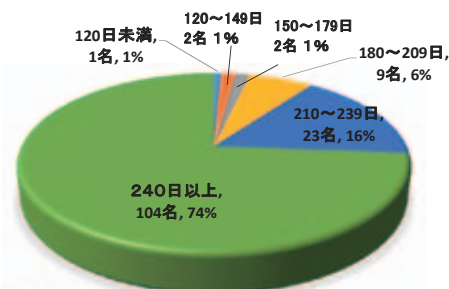
10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
19名	53名	36名	26名	6名	1名	141名

新規就業者の労働時間・労働日数・休日

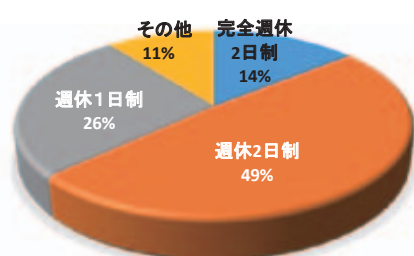
- (1) 1日当たりの労働時間をみると、「7～8時間未満」が64%、「8～9時間未満」が16%、「6～7時間未満」が16%となっています。
 (2) 年間労働日数をみると、「240日以上」が75%、「210～239日」が16%と、「210日以上」が約9割となっています。
 (3) 休日の状況をみると、「完全週休2日制」が14%と少なく、天候の影響を受けやすい仕事であることが影響していると思われます。



新規就業者の労働時間



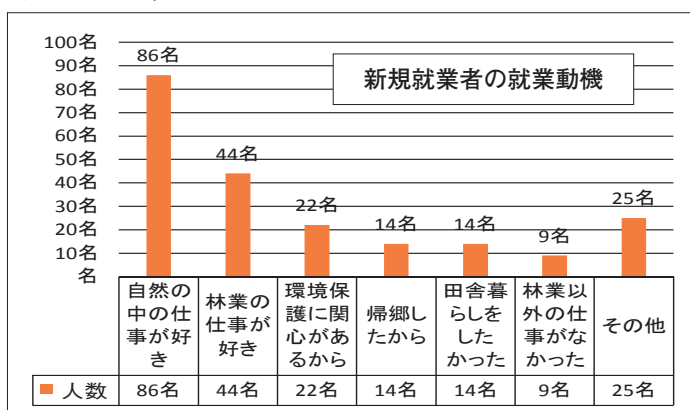
新規就業者の年間労働日数



新規就業者の休日

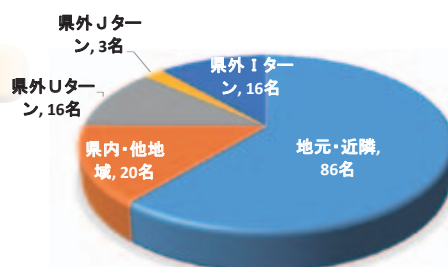
新規就業者の林業に就業した動機

- (1) 林業に就業した動機についてみると、86名61.0%の者が「自然の中の仕事が好き」と回答し、次いで、44名31%が「林業の仕事が好き」、22名16%が「環境保護に関心があるから」と回答しています。一方、「林業以外の仕事がなかった」との回答が9名6%となっています。



新規就業者の就業前の居住地

- (1) 新規就業者の就業前の居住地についてみると、「地元・近隣」が86名62%、「県内他地域」が20名14%と、全体の約76%が現在の勤務地の近くに居住していました。一方、県外Uターン、県外Iターンも各16名11%、県外のJターン3名を合わせた人数・割合は35名25%となっており、県外から林業へ就業する人も少なくないのが現状です。



新規就業者の就業前居住地

森林・林業担い手育成事業の実施

高校生2年生に伐木等の業務の特別教育を実施

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、平成29年11月20日(月)から21日(火)にかけて、福島県立会津農林高等学校において同校森林環境科2年生30名を対象に伐木等業務の特別教育を開催しました。

◎支援センター等のDVDを紹介

講義が始まる前に支援センターのDVD、「キラリ！福島の森林づくり いま高性能林業機械がおもしろい」の一部から「緑の雇用」の研修生等のコメントを紹介しました。併せて全国森林組合連合会の「緑の雇用」のPRのDVDを放映しました。短時間でしたが、熱心に視聴していただきました。

◎（安全衛生教育）室内

林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部の講師の方々により、「チェーンソー作業の安全ナビ」のテキストを基に、室内の講義を受けました。

①伐木作業に関する知識

服装や保護具、悪天候時の作業中止の基準、近接作業の禁止、上下作業の禁止、チェーンソーの基本操作、キックバックの防止、伐倒方向の選定、避難場所の選定、伐倒の合図、伐倒の方法、待避、かかり木の処理方法、造材作業の安全な手順など

②チェーンソーに関する知識

チェーンソーの構造、取り扱い等として安全装置の機能、燃料、チェーンオイルについて、チェーンソーの点検では、毎日、毎週、毎月ごとに点検の項目や方法、チェーンソーの故障と整備など

③振動障害及びその予防に関する知識

振動障害の原因、症状と予防対策の骨子、振動障害の予防措置、特殊健康診断の受診など

④関係法令等

罰則内容など

◎（安全衛生教育）屋外

学校の敷地を実習場所として、3班に分かれて実技を行いました。

最初に、チェーンソーの操作の指導を受けた後、丸太輪切り、立木伐倒の受け口追い口の操作を生徒全員が行いました。

◎アンケートの結果

右表・下表のと通りの回答を得ました。意見感想ではそれぞれの言葉で多様な感想をいただきました。

◆伐木等の特別教育を受けてみて、特に印象に残ったものは？（複数回答可）

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| ☐ 支援センターの取組紹介 | 無 |
| ☐ 伐木作業に関する知識 | 14名 |
| ☐ チェーンソーに関する知識 | 13名 |
| ☐ 振動障害の知識 | 6名 |
| ☐ 実技：チェーンソーの操作 | 21名 |
| ☐ 実技：チェーンソーの整備 | 9名 |

◆今後、森林・林業関係で仕事をしたいと思ったか

- | | |
|------------------------------|-----|
| ☐ はい | 11名 |
| ☐ いいえ | 20名 |

◆今後、森林・林業関係でやってほしいことは？

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| ☐ 現場での作業体験 | 13名 |
| ☐ 林業現場の見学 | 10名 |
| ☐ 製材工場・原木市場の見学 | 8名 |
| ☐ 地元のエコノミストの講話 | 5名 |
| ☐ 有名林業地の見学 | 7名 |
| ☐ その他 | 1名 |



個別に操作指導を受ける生徒

■意見・感想等

- チェーンソーの点検について詳しく知りたかった。
- 伐木作業、チェーンソーに関する知識を知ることができました。
- 時間が短かったのも、もっと長くやった方が良かったと思います。
- チェーンソーの紹介が勉強になりました。
- 命に関わる仕事を改めて怖いと思った。
- すごかった。
- チェーンソーを持った時のみなさんがとてもカッコ良かったです。
- いい資格がもらえて良かったと思います。なんかに役立てていきたい。ありがとうございました。
- チェーンソーの使い方などが詳しく分かったのが良かったです。
- チェーンソーの実技がわかりやすく楽しかった。



講義を受ける高校生



チェーンソーの説明をする講師



メンテナンスを指導する講師



丸太の輪切り操作実習

就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進しキャリア形成に必要な知識等を習得するための研修会として、「森林（もり）づくり研修会」を開催しました。

平成29年12月12日(火)、郡山市のビッグパレットふくしまプレゼンテーションルームにて、森林（もり）づくり研修会を開催しました。

今年度は講師として中尾友一氏（㈱自然産業研究所）を迎え、「先進的林業機械と森林（もり）づくり」と題してご講演いただきました。



三浦事務局長の挨拶



研修会の様子



講師の中尾友一氏

I. 福島県の木材需要等、林業機械化の状況について

- 福島県の木材供給量は全国第8位で多くの木材を県外に供給。7割がスギ、続いてマツ類、ヒノキ。木材入荷量は全国9位で全体の3割ほどが他県材と米材。但し、外材利用量は他県に比べると少なく、国産材、県産材の利用が多いものと考えられる。
- 県内及び近隣県に規模の大きな木材加工施設が存在しており、活発に素材が交流している状況にある。
- 特徴的なのは、都道府県別の木材利用について現在、福島県と熊本県が突出して公共建築物の木材利用量が多い。復興公営住宅等で利用。災害時の復旧・復興における木材利用は一過性であり、今後の木材利用にどのようにつながっていくかが次のステップになる。
- 福島県の林業機械化は進んできており、平成21年度から比較して倍以上の導入台数だが、地域による偏りが大きい。地形（傾斜）図で比較すると、導入が進んでいない地域は傾斜が急な山間地が多く、比較的平地が多い地域での導入が進んでいることが分かる。
- 機械を導入する際は、地域・地形的な特徴や今後求められる材の需要、継続して事業を行えるか等、長期的・総合的に判断することが必要。

II. 先進的林業機械の導入等について

- 「先進的林業機械緊急実証・普及事業」の説明と、導入された全国の事業体、その経過等について
- 導入された機械と効果について導入例を参考に、機種別に解説。ハーベスタヘッドにカメラを搭載した例では、曲がり等を確認しながら丁寧に造材でき、材の品質向上が望まれること、スプレーマーキングできる機能を付けた例では選別が容易になり、土場でのはい積み作業の効率が向上した、等。

- 導入後の改良、課題とその変化について
導入初期はトラブル関連が主なネック、その後は運用効率向上に関する事項が新たなネックとなる変化が見られる。事業地や事業量、稼働率の確保や他の作業工程との連携、新たな副作業、副産物の発生等の課題もある。
- 機械化を通じた林業の成長産業化のために必要なこと
機械の導入は林業の手段。使わなければ、使えなければ意味がない。機械化推進に求められている施策としては林地情報と路網等インフラ（産業基盤）の整備、主伐再造林等長期的な森林経営の見通し・安心感。「情報」と「道」のインフラが重要。機械化の促進は、国産材（原木）の安定供給体制の要諦である。

◇質疑応答

- 導入例で紹介された、繊維ワイヤーの強度や価格等についての質問が多く寄せられた。



質疑応答の様子

参加者からは、「機械化について知識を深めることができた」「導入機械の選定や（機械）導入後の新たな課題など総合的な考え方が参考になった」との感想が寄せられ、前日からの積雪であいにく足下が悪いなかでの開催ではありましたが、有意義な研修会となりました。

「緑の雇用」現場技能者育成推進事業について

研修の体系 (H29の体系)

研修の種類	集合研修	実地(OJT)研修
トライアル雇用	林業就業希望者が、仕事や職場にあっていか試す3ヶ月間の就業。(本格就業前)	
本格採用前	実施しません	(最大3ヶ月) (上限 60日)
林業作業士(フォレストワーカー)研修 新しく林業の仕事を始めた方対象。OJT研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、職務の能力向上を図ることで、一人前の現場技能者になる能力を身につけます。		
1年目	28日程度の座学と実習 林業作業の基本 【研修中に取得する安全講習等】 ・刈払機取扱作業 ・伐木等の業務(チェーンソー作業) ・玉掛け技能講習 など	(最大8ヶ月) (上限 140日)
2年目	29日程度の座学と実習 1年目の内容の確認・応用 【研修中に取得する安全講習等】 ・不整地運搬車運転技能講習 ・荷役運搬機械によるはい作業従事者 ・機械集材装置の運転業務 など	(最大8ヶ月) (上限 140日)
3年目	21日程度の座学と実習 基礎力の向上 大型機械を使用した林業作業 【研修中に取得する安全講習等】 ・簡易架線集材装置の運転業務 ・伐木等機械の業務	(最大8ヶ月) (上限 140日)
現場管理責任者(フォレストリーダー)研修 作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方対象、判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけます。		
5年以上	16日程度の座学と実習 【研修中に取得する安全講習等】 ・造林作業の作業指揮者 ・はい作業主任者 ・地山掘削及び土止め支保工作業主任者	実施しません
現場管理責任者(フォレストマネージャー)研修 複数班の総括など現場全体の管理責任能力を身につけたい方対象。コミュニケーション能力向上、林業の社会的使命、企画・営業・販売などを学び、林業現場の総括責任を担える能力を身につけます。		
10年以上	10日程度の座学と実習 【研修中に取得する安全講習等】 ・安全推進者養成講習	実施しません

出典：「緑の雇用」総合ウェブサイト 「緑の雇用」RINGYOU.NET

平成29年度方部別「緑の雇用」研修生数等集計

区分	会津	中通り	浜通り	計
1年生	5	25	12	42
2年生	12	15	7	34
3年生	8	13	5	26
計	25	53	24	102
事業体数	10	18	12	40

平成29年6月時点

◎「緑の雇用」とは

「緑の雇用」現場技能者育成推進事業は、国（農林水産省）の助成事業で、改善計画の認定を受けた林業事業体（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。

◎「緑の雇用」研修生になるには

研修生の要件は、必要な技能が身につけていない方（林業就労経験2年未満）で研修を受ける必要がある方、林業の仕事のある程度理解した上で林業に就労したい方、ハローワーク等に求職申請をするなど林業に就業活動をしている方、林業事業体に採用される方、研修終了後5年以上働ける方（60歳未満くらい）となります。

◎「実地（OJT）研修」とは

実地（OJT）研修は、雇用された事業体において、選任された指導員の資格を持つ指導員の管理・指導のもと研修を行います。本人の技術の習得度に応じて適切なスキルアップができるよう指導します。

29年度から、指導体制の見直しで指導員は研修場所に配置することが要件となりました。また、指導員としてフォレストリーダー、フォレストマネージャー研修修了者の活用を図ることとされています。

◎「指導員能力向上研修」とは

指導員になるための研修は、支援センターが主催し、今年度も5月31日から6月2日の3日間フォレストパークあだたらで開催しました。参加者は31名でした。



H29. 6. 1



H29. 6. 2

◎「集合研修」とは

集合研修は、次ページの表に示すような資格取得のための講習や造林・育林・間伐・メンテナンス作業などの実践実習の研修を行うものでその内容は多岐にわたります。

労働力確保支援センターが、企画運営を行っており、研修生の状況は左の表のとおりです。

◎集合研修等の平成29年度実施状況

平成29年度の主な集合研修の実施状況は下表のとおりです。

【1年生】

期 間	日数	研 修 名	研 修 内 容	研修場所
6. 5	1	開講式 林業の社会的責任と関係者との協働 無災害の推進、チームワークとコミュニケーション	林業における職務と技術者・技能者、地域での定着 現場作業における安全力	フォレストパークあだたら
6. 7	1	刈払機取扱作業者に対する安全教育	安全講習等	福島空港公園
6. 8～6. 9	2	伐木等の業務に係る特別教育	安全講習等	福島空港公園
6.13～6.14	2	育林・造林(学科・実技)	育林作業・造林作業の種類と目的、安全な造林作業	田村森林組合・田村市
6.27～6.28	2	メンテナンス	刈払機のメンテナンス・チェーンソーのメンテナンス	フォレストパークあだたら
7. 5～7. 6	2	森林調査 無災害の推進、チームワークとコミュニケーション	森林情報の基礎と立木調査の方法、コンパス測量の方法 健康管理	フォレストパークあだたら
7.12～7.13	2	育林(学科・実技)	安全な育林作業	田村森林組合・田村市
8. 7～8. 9	3	玉掛け技能講習	安全講習等	ボイラ・クレーン安全協会福島事務所
9.25～9.28	3	小型移動式クレーン運転技能講習	安全講習等	ボイラ・クレーン安全協会福島事務所
10.24～10.26	3	間伐(学科・実技)	間伐作業の種類と目的、安全な伐倒作業	田村森林組合・田村市
11. 6～11. 8	3	チェーンソーによる伐倒・造材・集材	チェーンソーによる素材生産の進め方、安全な伐倒作業 安全な造材作業、安全な集材作業	田村森林組合・田村市
11.15	1	メンテナンス	道具・資材のメンテナンス	湯ノ岳山荘
12. 7	1	普通救命講習 無災害の推進、チームワークとコミュニケーション 林業の社会的責任と関係者との協働	安全講習等 現場作業における安全力 林業事業体における経営	フォレストパークあだたら
12. 8	1	網猟・わな猟・閉講式	安全講習等	福島県青少年会館
1.15～1.18	2	小型車両系建設機械特別教育	安全講習等	南湖建設機械講習所白河講習センター

【2年生】

期 間	日数	研 修 名	研 修 内 容	研修場所
6.15	1	造林(学科・実技)	造林作業における省力化、安全な造林作業の確認	田村森林組合・田村市
6.21～6.22	2	メンテナンス(学科・実技)	刈払機のメンテナンス・チェーンソーのメンテナンス(技能の確認)	フォレストパークあだたら
6.29	1	森林調査・測量	GPS 測量の方法	フォレストパークあだたら
7. 7	1	走行集材の運転業務特別教育	安全講習等(学科)	福島県青少年会館
7.10～7.12	3	車両系建設機械運転技能講習	安全講習等	ボイラ・クレーン安全協会いわき事務所
7.14	1	育林(学科・実技)	育林作業における省力化、安全な育林作業の確認	田村市
7.31	1	走行集材の運転業務特別教育	安全講習等(実技)	いわき市
8. 7～8. 9	2	機械集材装置の運転業務特別教育	安全講習等(実技)(3日間のうち2日間)	いわき市
9. 5～9. 6	2	チェーンソーによる伐倒・造材・集材	安全な伐倒作業・造材作業・集材作業の確認	田村森林組合・田村市
10. 2	1	荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育	安全講習等(学科)	フォレストパークあだたら
10. 3	1	間伐(学科・実技)	間伐作業における省力化、安全な伐倒作業の確認	田村森林組合・田村市
10. 4	1	かかり木等処理	安全なかかり木処理の進め方	田村森林組合・田村市
11.22	1	無災害の推進、チームワークとコミュニケーション 業務効率化の推進	森林整備での労働災害	フォレストパークあだたら
11.24	1	メンテナンス	道具・資材のメンテナンス(技能・技術の確認)	湯ノ岳山荘
11.29	1	無災害の推進、チームワークとコミュニケーション 業務雇用率化の推進 林業の社会的責任と関係者との協働・閉講式	現場作業における改善力 事業所経営の把握	フォレストパークあだたら
12. 4～12. 6	3	不整地運搬車運転技能講習	安全講習等	南湖建設機械講習所白河講習センター

【3年生】

期 間	日数	研 修 名	研 修 内 容	研修場所
7. 8	1	伐木等機械運転業務特別教育 簡易架線集材装置等運転業務特別教育	安全講習等(学科)	福島県青少年会館
8. 1～8. 2	2	車両系木材伐出機械	安全講習等(実技)	いわき市田人おふくろの宿
9.20～9.21	2	かかり木等処理	安全なかかり木等処理作業	田村森林組合・田村市
9.26～9.27	2	チェーンソーによる伐倒・造材・集材	安全な素材生産作業の確認 木材の特性 木材流通と木材利用	福島県林業研究センター 郡山地区木材製材協同組合 協和木材
10. 5	1	森林整備	森林整備の省力化・低コスト化作業	田村森林組合・常葉町
10.10	1	森林整備	森林整備の省力化・低コスト化作業	小野町
10.17～10.19	3	高性能林業機械による造材・集材	効果的な高性能林業機械の使い方 高性能林業機械操作の検証	湯ノ岳山荘 いわき市
11. 1～11. 2	2	森林作業道	路網の種類と目的、安全な路網開設・維持作業	いわき市
11. 9	1	無災害の推進、チームワークとコミュニケーション 業務効率化の推進	素材生産での労働災害	フォレストパークあだたら
11.17	1	森林整備	森林施業の体系、現場作業における総合力	フォレストパークあだたら
11.30	1	無災害の推進、チームワークとコミュニケーション 業務効率化の推進 林業の社会的責任と関係者との協働	現場作業における総合力 事業所経営の展望	フォレストパークあだたら
12. 5～12. 7	3	メンテナンス 閉講式	機械類の管理方法、架線系高性能林業機械のメンテナンス 車両系高性能林業機械のメンテナンス	湯ノ岳山荘 いわき市

◎写真で見る「集合研修」1年目の記録



H29.6.5 開講式



H29.6.5 講義(地域での定着)



H29.6.5 講義(現場作業における安全力)



H29.6.13 育林作業



H29.6.13 造林作業



H29.6.27 刈払機のメンテナンス



H28.6.28 チェーンソーメンテナンス



H29.7.5 健康管理



H29.7.5 森林調査(コンパス測量)



H29.7.5 森林調査(座学)



H29.7.6 森林調査(立木調査)



H29.7.6 森林調査(立木調査)



H29.7.13 安全な育林作業



H29.7.13 安全な育林作業



H29.10.24 間伐(学科)



H29.10.25 間伐作業の種類と安全な伐倒作業



H29.11.6 製材工場見学



H29.11.6 安全な伐倒作業



H29.11.7 安全な造材作業



H29.11.8 安全な造材・集材伐倒作業



H29.11.15 道具のメンテナンス



H29.12.7 救急救命



H29.12.7 現場作業における安全力・林業事業体における経営



H29.12.8 網獵・わな獵

◎写真で見る「集合研修」2年目の記録



H29.6.15 造林作業における省力化・安全な造林作業(学科)



H29.6.15 造林作業における省力化・安全な造林作業(実技)



H29.6.21刈払機のメンテナンス



H29.6.22 チェーンソーのメンテナンス



H29.6.29 森林調査・測量学科(GPS測量の方法)



H29.6.29 森林調査・測量実技(GPS測量の方法)



H29.7.14 育林作業における省力化・安全な育林作業



H29.7.31 走行集材運搬業務特別教育



H29.9.5 チェーンソーによる伐倒・造材・集材(学科)



H29.9.5 チェーンソーによる伐倒・造材・集材(実技)



H29.9.6 チェーンソーによる伐倒・造材・集材(実技)



H29.10.2 荷役運搬木会等におけるはし作業従事者安全教育



H29.10.3 間伐作業における省力化・安全な伐倒作業の確認



H29.10.4 安全なかり木処理の進め方(学科)



H29.10.4 安全なかり木処理の進め方(実技)



H29.11.22 森林整備での労働災害



H29.11.24 道具・資材のメンテナンス



H29.11.29 現場作業における改善力・事業所経営の把握

◎写真で見る「集合研修」3年目の記録



H29.8.1 車両系木材伐出機械安全講習(実技)



H29.9.20 安全なかり木処理作業



H29.9.26 木材の特性



H29.9.27 木材の流通と木材利用



H29.10.5 森林整備の省力化・低コスト化



H29.10.10 森林整備の省力化・低コスト化



H29.10.18 効果的な高性能林業機械の使い方



H29.11.2 森林作業道(種類・安全な開設・管理)



H29.11.17 森林施業の体系・現場作業における総合力



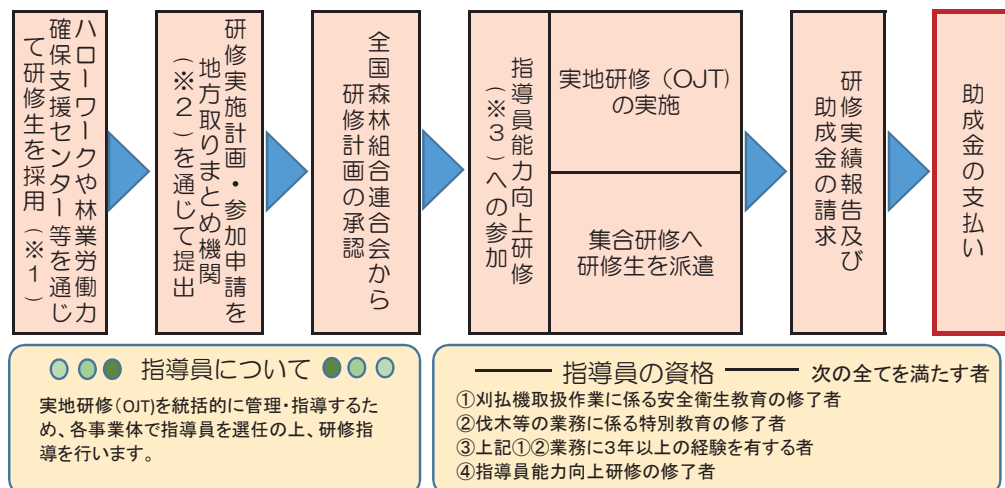
H29.12.5 高性能林業機械等のメンテナンス



H29.12.6 高性能林業機械等のメンテナンス

◎申請から支給までの流れ（全国森林組合連合「緑の雇用」現場技能者育成推進事業リーフレットより）

認定事業体の皆様が「緑の雇用」現場技能者育成推進事業を活用するためには、下図のようなフローにより取扱機関に申請を提出しなければなりません。具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが行っています。



- ※1 トライアル雇用と林業作業士（フォレストワーカー）研修（1年目）（トライアル雇用から引き続きの場合を除く）のみ
- ※2 本県では福島県林業労働力確保支援センター、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合があります。
- ※3 本県では福島県林業労働力確保支援センターが行っています。

林業就業支援講習(12日間)を開催

林業就業を目指す方々を対象にした林業就業支援講習を、平成30年1月11日(木)から26日(金)までの12日間の日程で開催しました。

この講習は、厚生労働省委託事業として全国森林組合連合会の委託を受けて各都道府県にて実施するもので、新たに林業への就業を希望する方(原則45歳未満の方)を対象に、下記のカリキュラムで行いました。今回の参加者は11名で、県内5名、県外6名、性別は男性9名、女性2名でした。

1日目

講習のカリキュラム

日程	時間	内容	講師の所属組織または視察場所	実施場所
1日目	1月11日(木)	9:30~9:45	オリエンテーション	ビッグバレット ふくしま 小会議室2 (郡山市)
		9:45~11:00	林業と山村地域の現状について	
		11:00~12:00	主な林業樹種とその特性などの森林生態について	
		13:00~14:00	木材の育成作業と森林の管理方法について	
		14:00~15:00	森林の有する多面的機能の発揮と健全な発展について	
		15:00~16:00	作文「なぜ林業の仕事を希望したのか等」	
2日目	1月12日(金)	9:00~14:00	救命措置(救急訓練法)	日本赤十字社 福島県支部
		14:30~16:00	林業における労働災害の現状と安全衛生対策	林材業労災防止協会福島県支部
3日目	1月15日(月)	8:10~16:50	小型車両系建設機械運転業務講習(3t未満)	南湖建設機械講習所 白河講習センター
4日目	1月16日(火)	8:30~15:30		
5日目	1月17日(水)	9:00~16:00	刈払機資格講習	林材業労災防止協会福島県支部
6日目	1月18日(木)	8:45~17:30		湯ノ岳山荘 (いわき市)
7日目	1月19日(金)	8:45~17:30	チェーンソー資格講習	林材業労災防止協会福島県支部
8日目	1月22日(月)	9:00~16:00		
9日目	1月23日(火)	9:00~16:00	林業作業の実地講習	ふくしま中央森林組合
10日目	1月24日(水)	9:00~16:00		左記作業現場 (田村市大越町) (田村郡小野町)
11日目	1月25日(木)	9:00~16:00		
12日目	1月26日(金)	8:30~12:00	林業関係施設等の見学	福島中央木材市場(郡木協かねざわ) 藤寿産業(集成材工場)
		13:00~14:30	講演「林業就業を志すために必要なこと」	五十嵐保雄
		14:30~16:30	林業への就職相談・現場作業者による生活相談等 講習の総括・アンケート記入・修了証の交付	福島県林業労働力確保支援センター 菊池 優子(南ウッド福生) 福島県林業労働力確保支援センター

開講式・オリエンテーションに引き続き、林業の基礎知識として、「林業と山村地域の現状について」等について講義を受けました。



開講式(三浦事務局長)



講義の状況(受講生)



講義の状況(三浦事務局長)



講義の状況(阿久津専門員)



講義の状況(馬場支援課長)

2日目

2日目は郡山市のビッグバレットふくしまマルチパーパスルームにおいて日本赤十字社福島県支部の講師から「救命措置(救急訓練法)」と林材業労災防止協会福島県支部の講師から「林業における労働災害の現状と安全衛生対策」をそれぞれ学びました。



救命措置の講義



労働災害の現状と安全衛生対策の講義

3～4日目

3～4日目は郡山市にある南湖建設機械講習所白河講習センターで小型車両系建設機械（3t未満）資格講習を受講しました。

5日目・6日～7日目

いわき市の湯ノ岳山荘において5日目に「刈払機の資格の講習」を6日目～7日目にチェーンソー資格の講習を受講しました。



小型車両系建設機械運転業務講習受講状況



チェーンソー資格講習（学科）

8～11日目

8日目から11日目は、ふくしま中央森林組合に協力をいただき、田村郡小野町の現場等をお借りして実地研修を行いました。作業は広範囲におよび、さまざまな経験を積んで頂くことができました。



8日目の作業開始前のあいさつの様子



9日目の実地講習の様子（刈払い）



9日目の実地講習の様子



9日目のチェーンソーメンテナンスの様子



10日目の実地講習の様子（丸太柵・杭打ち）



10日目の実地講習の様子（丸太柵完成）



11日目の実地講習の様子（伐倒）



11日目の室内での体幹を鍛える訓練

12日目（午前）

県内の林業関係施設等を見学しました。最初に福島中央木材市場を、次に藤寿産業(株)の集成材工場を見学しました。



福島中央木材市場の説明を受ける



11日目 藤寿産業(株)の集成材の説明

12日目（午後）

初日と同じ郡山市のビックパレットふくしま3階会議室にて、講話、相談及び12日間の講習の総括、修了証の交付等を行いました。

はじめに、五十嵐保雄氏による講話「林業就業を志すために必要なこと」を聴講したのち、平成28年度に「緑の雇用」を修了しフォレストワーカーとして活躍している(有)ウッド福生の菊池優子さんと当支援センター所属の林業就業支援地域アドバイザーによる林業への就業・生活相談を行いました。

最後に12日間の講習の総括を行い、修了証の交付となりました。



五十嵐保雄氏の講話



菊池さん、地域アドバイザーの相談



五十嵐さん菊池さんと受講生

研修生による作文（抜粋）

私の地元は自然に囲まれ、自然とともに育ってきたおかげで自然が大好きになり、自然の中で働きたいと思った。林業に興味を持ったきっかけは偶然観た映画で、更にインターネットで林業について調べると、今まで林業はただ木を伐採するだけというネガティブな考え方をしていたが、木を伐採するだけではなく、木を育て、森を守っている仕事だと知り、林業にとっても興味を持った。元々、体を動かす事が好きなので、更に自然の中で働きたいなら第一産業である林業しかないと考えた。

林業は今、様々な問題を抱えていると知った。そうした問題にぜひ取り組み、将来的には自分の知識や経験を通じて解決策を考え、提案し、実行できる人間になり、大好きな自然を守っていただける人間になりたいと思う。その様な人間になる為に自然と正面から向き合える林業を希望した。（10代男性）

自分が次に就きたい仕事を考えるのに第一の条件としたのが、自然の厳しさの中で行う仕事かどうかである。厳しい環境の中でも仕事をこなせる能力を身につけたいと考えており、この目標に合うのは自分の中では林業だった。また、生まれが山あいだに木に親しんでいたということも一因にある。

林業への就職を考え始めた動機は、現職に一定の成果を上げたと思えるようになったことである。子供が、今年から大学に進学予定で、自立の時期に近づいてきており、自分も自身がやりたい事について考えるようになった。15年ほど勤めているが、家族を養うのが就職の動機で一生続けたい仕事ではなかった。幸いにも、多少の適性と周辺の協力を頂けて現在まで働けたが、子供の自立を契機に本来やりたかった仕事を検討したくこの講習に参加させて頂いた。

他にも林業の道に入りたいという思いを強くした理由が二つある。一つは森林整備という仕事がついに自分の力を知ったことである。木を育てるサイクルがあることも勉強になったが山を育てる仕事という点に強く関心を覚え、もっと理解したいと思うようになった。もう一点は、いまだ労働力が足りないということである。最近では関心を持つ者も増え、支援制度が増えた影響で増加傾向とこのことが、全体的に少ないと捉えている。しかし、林業は国を支える仕事の一端を担っていると考えており、その支えとなる労働力の一つになりたいと思った。

以上が、自分が林業を目指す理由である。また林業について何も知らない身ではあるが、この講習で少しでも多くのことを理解したい。（40代男性）

林業の仕事をこれから本格的、林業師やアルバリストとして始めるきっかけは、今まで音楽だけで自然をかんじっていたので、アクティブに森とそこに関わる今までになにかを発見したく思う。（50代男性）

この地球は美しい調和で満たされている。それを僕ら人間は、エゴによりどんどん壊してしまっている。幼い頃より多くの時間を自然の中で過ごし、自然が大好きな僕は、失われていく自然の姿にいつでも胸が痛んでいた。

森は計りしれない程の生命を与えている足だ。森が無ければ魚も鳥も虫も人も生きていくことは出来ない。そんな森が今荒れ、木々が苦しんでいる。花粉を出し、僕ら人間に訴えている。それでも人々は薬でこまがし、素直に見つめ、耳を傾けようとしなない。森は荒れてゆくばかりだ。川も海も同じように。

この地球の為に生きようと思った。人間社会の為にではなく、それも含めた地球の為に。その為に故郷の埼玉を去り、福島に一ヶ月前に移住してきた。荒れた森を、元に近い森に戻し、今よりもっともっと美しい地球を作っていく。地球の為にと思うと体の底から力がみなぎってくる。これこそが真の仕事だと思った。（20代男性）

林業は、自然の中でする仕事であり、目立たないかもしれないが、必要不可欠な仕事だと思っている。実際にどんなことをするのか、理解されているとは言えないが、森林の仕事ガイダンスや、本日の講習で、なんとなく見えてきた。今後の研修の中で、実際に作業し体験していくことで、さらに理解を深めていきたい。

自然を相手にする大変な仕事かと思うが、ガイダンスなどで話を聞くと、自分でもやっていけそうだと思う。自然の中での仕事は、町の中でする仕事や、対人関係をメインにするような職種より自分に向いていると思う。

現時点で、林業という職業の中で何をしたいかという目標はまだ定まっていけないが、自然を相手にする林業という仕事で、自然環境の保全や、水資源の確保など、人の役に立てればと思っている。（40代男性）

私は、現在半年間の長期研修であり、農業・林業について学ぶ機会としている。今の日本において経済活動としての林業は難しい。木材価格が低迷し、森林を育てる経費が捻出できない。人工林はたくさんあり、人の手が必要だが、手をかけると儲けがなくなる。もしくは赤字が増えるという構造は厳しい。

稼げる林業となるためには、作業しやすい場所に作業地を集約していく、木材需要を増やすための政策や啓蒙、便利な機械の導入など公的な援助が不可欠。日本にはたくさんの森林があり、緑豊かな国土はいろんな恩恵をもたらしてくれる。そこで働く人が増えることは、地方が過疎化する流れにも逆らうことができ、林業が盛んになることには大きなメリットがある。そういうメリットのために公的な援助がある程度入ることは理解を得られるのではないかと。

同時に現場で働く人が必要になる。私は、大学で林学を学び、少し林業経験をしたが、やはり肉体的にかなりハードだと感じた。しかし、昼休みに弁当を食べるなどの満足感は今でも忘れない。やった作業が目に見えて感じられる満足感もある。地域おこし協力隊のような仕組みと林業の充実した新人プログラムとが合わさった企画ができ、高卒・大卒の若者が一定期間地方に暮らし林業に従事できると、魅力を感じる人が出てくるのではないかとと思う。今回の講習を通じて林業について、そこで必要な技術についてしっかり学びたい。（40代男性）

私が職業として森林整備を希望する理由は、昔読んだ本に書かれていた林業についての記述である。林業は、長い歴史的な時間を捉えて行っており、50年、100年前に植えられた森林を伐採利用して、50年、100年後の世代に森林を残すために植樹する、と書かれていた。

このように自分の生きている時間を超えて社会と関わり合える職業である点が、他の職業と違い魅力があると思い、森林整備の仕事につけたらと思うようになった。先人たちが残してくれた財産を身近に感じることができ、孫やその先の世代のために森林を残していけるというスケールの大きさが生業とする理由にとってもいいと思う。

なんといっても、自分が死んだあとまで自分の仕事の痕跡が残るというのが、今の仕事ではあまり感じることのない充実感があるだろうな、という漠然とした期待がある。

祖母の家が霊山の近くにあり、幼き日から夏休みに訪ねた際に周りの豊かな森林を眺めたり、祖母の畑の農作物を食べたりしてきた。先人たちが残してくれた恩恵を受けているので、恩返しするためにも、この職業につきたい。（30代男性）

講習を受けるきっかけは、父が林業の仕事をしていて、林業を手伝ってほしいと言われ受けた。講習の前日、母にWOODJOBという映画を勧められ、軽い気持ちで観てみたが、観ているうちにどんどん興味が湧いてきた。

主人公も初めは軽い気持ちで林業の研修を受けていたが、どんどん林業に興味を持ち、やりがいを見つけ、最後東京の実家へ帰る途中に建設途中の家の木材の匂いを嗅いで家へ帰らず、林業をしていた村に戻り、また林業の仕事をする場面を見てとてもいいシーンだと思い、私も木材の匂いが好きなので木の匂いを感じながら仕事をすること、そして父の仕事でもある林業というものをもっと知りたくなった。

初めは、今回の講習も仕方なく受けようと思っていたのに、今ではとても楽しみにしている。今回の講習を通じて「林業」を知り、いつか自分も林業に就き、林業を知らない人、特に若い人達に林業という職業を広めていきたいなと思う。（20代女性）

新聞の記事から林業が必要だと知り、仕事をしたら役に立つことができると思い（林業の仕事）希望する。日本の山林は整備されていない山が多いようだが、実家の山林が数年間手入れを怠っていたため、作業が大変で片付かない。その経験から、日本の森林も整備を続けなければならないと分かった。

未来に綺麗な森林を残すことは、川に流れる栄養を増やし土砂崩れを防ぐ等に関係する大切な仕事なので、携われたら嬉しい。私は、体を動かす仕事が好きなので体を鍛えて長く林業を続けたい。そして、仕事をすることで自然環境を守れたら幸せだと思い林業を希望した。これから、チェーンソーなどの操作を身につけて林業をすることで、自分に自信をつけていきたい。（30代男性）

震災以降、日本はエネルギー転換を余儀なくされている。私たち福島県民にとっては、特に真剣に取り組まなければならない問題である。

私は南会津に住らし、嫁ぎ先は林業を営んでいる。南会津は、森林資源が豊富な山あいの町であり、バイオマス発電などに取組む機会に恵まれた環境であるが、施設や運搬の問題や、人材不足が大きな課題で、高齢化が進み後継者不足の職業である。過疎化が進むなかで、林業従事者の雇用、育成に本格的に取り組むことができれば、町の活性化につながるのではないかと。実際にバイオマス発電の施設を計画的に移転しているようなので、今後の動向に期待している。

私自身、今回の研修会を機にもっと勉強し、森の有効利用や、人材の育成もできるようにしたいと思う。そして、子供たちの未来に安心と災害に強い安全な日本を残してあげたいと思う。（40代女性）

（支援）講習に応募したが、まったくの未経験であり、林業の将来や林業従事にあたる心構えは検討できないレベルである。これからを思慮、検討するための場として講習会の参加を希望した次第である。素人のお門違いな考えかも知れないが、現在持ち合わせの認識に基づく期待事項を記入したい。

まず初めに、一般的な情報源である新聞・ニュース等のソースに基づく認識は下記となっている。

- ・現在の林業は非常に衰退している。木材価格とコストが釣り合わないため。
- ・後継者不足などで従事者も不足中。
- ・すでに福島県を含めた複数県では森林環境税を創設し官主導による対策を実施中。

- ・翌年度以降での森林環境税を創設する予定（未決？）
- ・実際はこれといったビジネスモデルが生まれずに既存の形態を守る会社、組織体への税支出が続いている。

国際的な販路サイトで見ることが出来る海外業者の基準価格に対し、助成金による補助を続けても永遠に太刀打ち不可能ではとの疑問を持っているが、この頭打ち感こそビジネスチャンスとの認識で、「山林という不動産をどう活用出来るのか？」という点に主眼で検討すれば木を育てて販売するというビジネス以外の存在があると確信している。

ただし、現行法規制、補助金の制限範囲並びに山林入手時の地元ローカルルールなどアイデアを実行に移すために不明な点が多々あり、二の足を踏む状態の昨今となっており「異業種からの参入者のために敷居を下げて頂く活動」を今後の林業業界に期待している。

そして、多数の異業種からの参入者が行政に頼らない資金調達（クラウドファンディング等）により安価に山林を借地、購入し従来存在しなかった事業を行うことが、最終的な林業従事者および山林の価値を高めることだとの考えを持っている。（40代男性）

森林作業道作設研修会を開催

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、各種取り組みを通じて森林・林業に関する情報を提供するための事業を実施しています。

平成22年度から始まったこの研修は平成29年度までで、延べ211人の方が受講しました。

平成29年度は、初級研修8名、フォローアップ研修で5名の方が修了されました。

区分	初級研修	放射性物質 対処型研修	フォローアップ 研修	指導者研修	延べ人数	実人数
県北	8	1	0	1	10	10
県中	30	6	20	6	62	43
県南	21	8	23	3	55	34
会津	15	0	4	3	22	15
南会津	3	0	0	1	4	4
相双	9	4	6	0	19	13
いわき	17	7	13	2	39	25
計	103	26	66	16	211	144

注) 実施年度：初級研修はH22～H24、H28、H29 放射性物質対処型研修はH25
フォローアップ研修はH22～H24、H26～H29、指導員研修はH22～H25

森林作業道作設研修会（初級研修）

平成29年12月18日から12月21日までの4日間で研修を行いました。開催場所は、室内がふくしま中央森林組合石川岩瀬事業所の石川事務所会議室で、現地は石川郡石川町大字北山字入山地内でした。受講生は8名でした。講師は、(一社)フォレスト・サーバイ 齋藤 興氏、(有)豊田林業の豊田新一氏にお願いし、ご指導をいただきました。

1日目(12月18日)午前 室内 齋藤氏による講義

「路網作設オペレーター養成事業 研修教材 森林作業道づくり2010」の3章、7章、10章により講義

1. 森林内の道の種類
2. 森林作業道の特徴
(目的と機能、開設・維持・管理の主体、構造上の特徴)
3. 森林作業道のつくり方
(使用する機械、伐開、土工の基本技術、排水、洗い越し工、湧き水の処理、曲線部、簡易構造物等)
4. 安全管理と技術の向上
(安全管理、技術の向上)

1日目(12月18日)午後 現地 豊田氏による現地指導

①現地踏査 ②支障木伐倒 (チルホールを使用し個々人の技量確認と伐倒方向規制を行って安全確保)

2日目～4日目午前(12月19日～21日)現地

- ①土砂掘削 ②表土処理 ③伐根処理 ④路盤転圧 ⑤転石掘削
- ⑥岩盤処理 ⑦丸太組工 ⑧路盤整正 ⑨出来形計測

4日目午後(12月21日)室内 豊田氏による討議・アドバイス

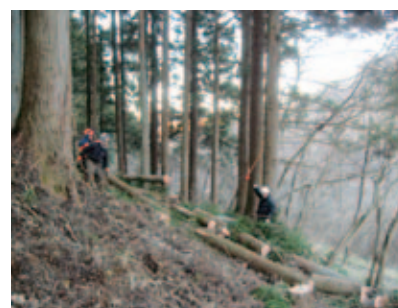
- ①作設上の疑問点、不明点について討議、随時講師のアドバイスを受ける。
- ②講師による講義 ③確認テストによる習熟度等の確認 ④アンケートの記入
- ⑤記念写真 (研修生の確認)



1日目：齋藤氏による座学



1日目：支障木伐倒



1日目：造材作業



2日目：伐根処理



2日目：路盤転圧



3日目：転石処理



3日目：丸太組工（8寸釘打ち）



4日目：討議



4日目：講師と修了生

森林作業道作設研修会（フォローアップ研修）

平成30年1月16日から1月19日までの4日間、フォローアップ研修を行いました。開催場所は、いわき市のおふくろの宿および田人町旅人字根室地内で、受講生は5名でした。講師は、（一社）フォレスト・サーベイ 齋藤 興氏、(有)豊田林業の豊田新一氏にお願いし、ご指導をいただきました。



1日目：齋藤氏による座学



1日目：座学を聴講する受講生



1日目：丸太組工施工



1日目：丸太組工（8寸釘打ち）



2日目：転石処理作業



3日目：既設作業道木橋見学



4日目：伐根処理作業



4日目：延長計測（中間）



4日目：延長計測（終点）



4日目：確認テストの記入



4日目：講師を交えての意見交換会



4日目：講師と修了生

「森林の仕事ガイダンス 2018」に参加

全国森林組合連合会主催で、林業に関心のある方に、森林の仕事を紹介する「森林の仕事ガイダンス2018」として東京都で2回、大阪府大阪市で1回、愛知県名古屋市で1回開催されました。今年度も、各都道府県の就業相談担当者が集結し就業希望者に相談を行いました。今回は延べ4回開催され、その全てに参加し、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

東京会場1回目（東京国際フォーラム）

平成29年11月26日に開催され、29都道府県の相談ブースが設けられました。

主催者発表で998名の相談者が訪れました。

本県には16名の相談があり、本県の概況や森林林業の特徴・現状・課題、認定林業事業体数や採用予定の状況・インターネットハローワークの求人情報等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。

なお、ガイダンスでは、オリエンテーションコーナー、全国森林組合連合会の相談ブース、緑の研修生交流ブースやハローワーク相談ブース、チェーンソーや防護衣、防護靴などの展示、各県の大学校や情報誌の配布コーナーなどに沢山の方々が訪れていました。

また、「緑の研修生によるトークショー」では実際の緑の研修生（今年はフォレストワーカー1年生3名、千葉県フォレストリーダー1名、フォレストワーカー1年生3年生各1名で6名の内5名が女性）がステージに登壇し、進行役の葛城奈海さんの問いかけに、自身の経験や感想をわかりやすく答えていました。



オリエンテーションコーナー



本県ブースの相談状況



緑の研修生交流ブースの状況



全森連相談ブースの状況



緑の研修生トークショー（進行：葛城奈海さん）

東京会場2回目（品川インターシティホール）

平成30年1月27日に開催され、33都道府県の相談ブースが設けられました。主催者発表で1,045名の相談者が訪れました。

本県には17名の相談があり、第1回目と同様の情報に加え、平成30年の事業体の採用計画も提供しました。本県の求職者数や認定事業体の多さをPRしました。

なお、ブースも第1回目と同様のブースでしたが、「緑の雇用」研修生コーナーでは本県の松本照之さん（㈲松本林業）、森藤洵さん（田村森林組合）が相談に応じていました。



本県ブースの相談状況



展示コーナー



フォレストリーダートークショー



「緑の研修」相談ブース（本県研修生）

大阪会場（大阪マーチャンダイズ・マート）

平成30年2月3日に開催され、29道府県の相談ブースが設けられました。

主催者発表で611名の相談者が訪れました。

本県には3名の相談があり、林業に従事して数年の「緑の雇用」研修生が、現場の本音を語るフォレストワーカートークショーや5年先10年先をイメージするため林業を長く続けてきたからこそわかる仕事の魅力や成長できたエピソードの話が聞けるフォレストリーダートークショーなどが開催されました。



本県ブースの相談状況



展示コーナー状況



フォレストリーダートークショー・フォレストマネージャー展示



フォレストワーカートークショー

名古屋会場（JP タワー名古屋ホール&カンファレンス）

平成30年2月10日に開催され、18道県の相談ブースが設けられました。

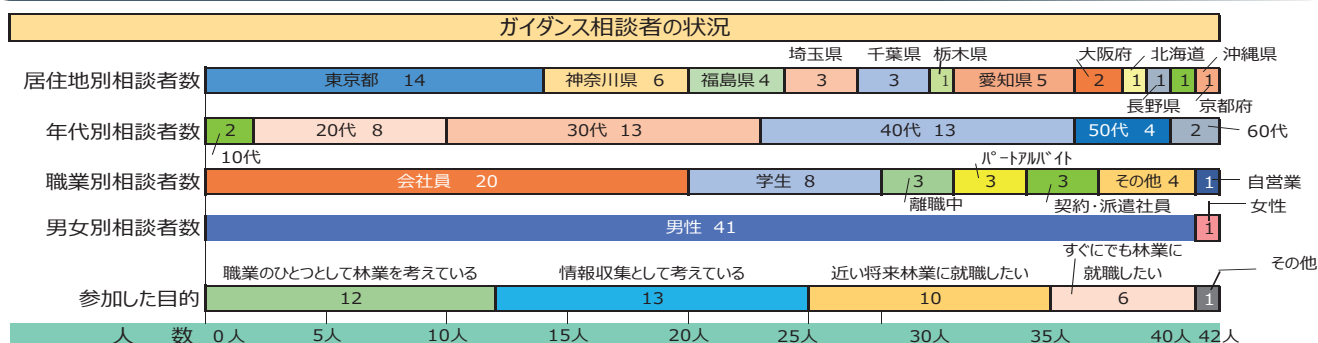
主催者発表で470名の相談者が訪れました。

本県には6名の相談がありました。本県の概況や森林林業の特徴・現状・課題、認定林業事業体数や採用予定の状況・インターネットハローワークの求人情報等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。



本県ブースの相談状況

各会場での相談者の状況



福島県認定事業体一覧表(流域別)

H30.1.1現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
阿武隈川流域			
1	福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
3	(有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
4	安田林業(株)	安達郡大玉村大山字宮ノ前21	0243-68-2220
5	郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
6	(株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
7	(有)ネイチャーリバイブ	須賀川市滝字前田40	0248-67-2856
8	田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
9	(株)クライス	田村市常葉町西向字中97-1	0247-61-5187
10	(有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
11	(有)星林業	岩瀬郡天栄村大字田良尾字鹿野3	0248-84-2307
12	アブクマエコロジ(有)	石川郡玉川村大字岩法寺字下竹ノ内36-6	0247-57-4111
13	(有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
14	(有)水野林興	石川郡古殿町大字大久田字越代139	0247-53-3860
15	(有)鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	0247-53-3174
16	ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
17	株式会社ヤマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
18	大屋林業(有)	白河市大信限戸字赤仁田1-111	0248-46-3591
19	(株)出田創業	白河市大信下小屋字宮沢144	0248-21-6560
20	白米林業企業組合	白河市字会津町93-8	0248-29-8991
21	西白河地方森林組合	白河市市旭町1-244-1	0248-24-1037
奥久慈流域			
22	(有)東白林業	東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野179-1	0247-33-6939
23	東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
24	(有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
25	(有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中川前217	0247-35-2324
26	(有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字太子沢21-3	0247-57-5675
27	協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻田10	0247-43-0272
28	(有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
29	(株)武農林商会	東白川郡塙町上茨井字胡桃下53	0247-43-4283
30	真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
31	(有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	0247-42-2409
32	(株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
33	(有)本郷林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2420
34	(有)諸橋林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
会津流域			
35	会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
36	(有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
37	会津北部森林組合	喜多方市市舞台田3128-8	0241-22-1136
38	(有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021
39	(株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300

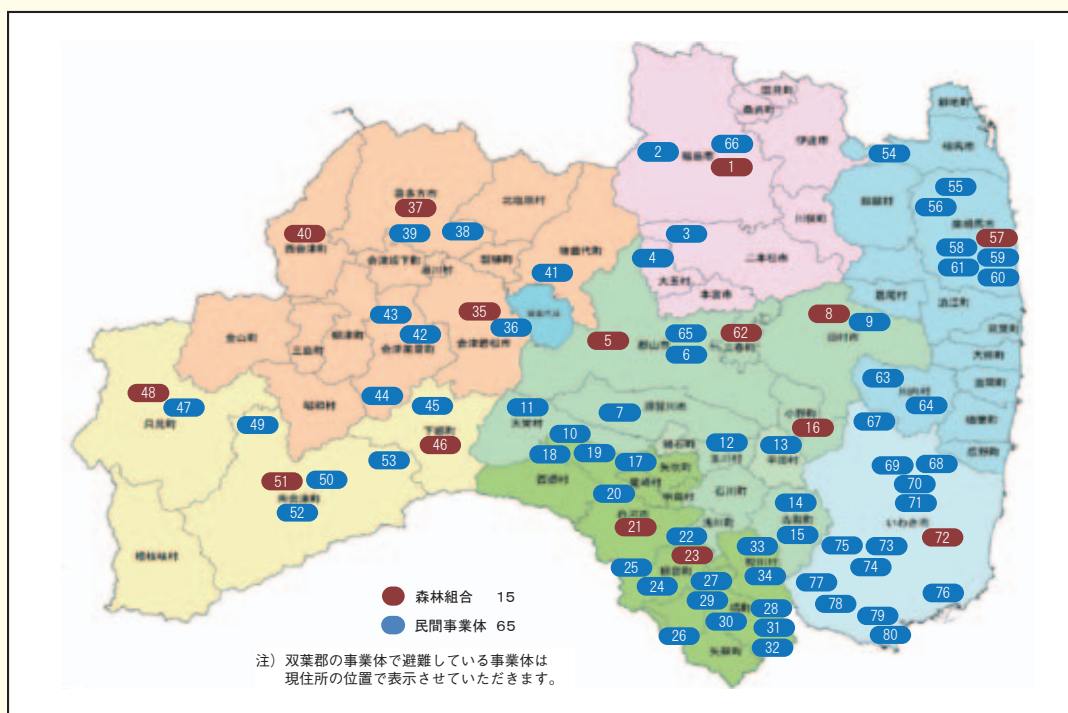
番号	事業体の名称	所在地	TEL
40	6 西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779
41	7 (有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
42	8 栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
43	9 会津西部林業(有)	大沼郡会津美里町吉田字村中甲173	0242-53-2408
44	10 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
45	11 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
46	12 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
47	13 (株)ヤマシ	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
48	14 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字田中1283-3	0241-82-3120
49	15 和泉田造林組合	南会津郡南会津町和泉田稲場5542	0241-73-2330
50	16 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
51	17 南会津森林組合	南会津郡南会津町針生字下宮238	0241-64-5071
52	18 (株)館岩工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
53	19 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
磐城流域			
54	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
55	2 特定非営利活動法人自然環境応援団	南相馬市鹿島町上杉窪字瀬ノ沢20-1	0244-26-3917
56	3 国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
57	4 相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1-34	0244-22-0831
58	5 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
59	6 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
60	7 中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
61	8 (株)ガイワーク東北支店	南相馬市原町区馬場字切付69	0244-32-1027
62	9 双葉地方森林組合	(暫定事務所) 田村郡三春町大字芹ヶ沢字深作130-2	0247-73-8070
63	10 (株)緑樹	双葉郡川内村大字下川内字松川原46-4	0240-25-8806
64	11 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
65	12 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
66	13 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
67	14 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
68	15 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
69	16 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
70	17 いわき愛林(株)	いわき市小川町上小川字片石田111-1	0246-83-2560
71	18 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
72	19 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
73	20 (株)長山	いわき市遠野町深山田字新田62-1	0246-89-3999
74	21 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
75	22 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
76	23 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
77	24 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
78	25 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
79	26 (有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	0246-65-2974
80	27 磐城造林(株)	いわき市勿来町関田宮前36	0246-65-4141

注) 番号は、流域ごとに、市役所・町村役場一覧の順に表示しています。

【認定林業事業体とは】

林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業者が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画(改善計画)」「(5年間)を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業体になります。

福島県認定事業体位置図(流域別)



認定事業体名一覧

H30. 1. 1 現在

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
阿武隈流域		奥久慈流域		会津流域		磐城流域 (相双)		磐城流域 (いわき)	
1	福島県北森林組合	22	(有)東白林業	35	会津若松地方森林組合	54	松山林業(有)	67	(有)丸信林業
2	吾妻造林(有)	23	東白川郡森林組合	36	(有)佐藤林業	55	特定非営利活動法人 自然環境応援団	68	國生興産(有)
3	(有)武田林産	24	(有)陣野林業	37	会津北部森林組合	56	(有)国見グリーンパワーズ	69	(有)中崎林業
4	安田林業(株)	25	(有)スズキ木材	38	(有)斉藤造林	57	相馬地方森林組合	70	いわき愛林(株)
5	郡山市森林組合	26	(有)田部林業	39	(株)ノーリン	58	(有)鈴木林業	71	(有)松本林業
6	(株)アメリカ屋	27	協和木材(株)	40	西会津町森林組合	59	千葉製材所	72	いわき市森林組合
7	(有)ネイチャーリバイブ	28	(有)いしぐろ	41	(有)六和林業	60	(有)中川木材	73	(株)長山
8	田村森林組合	29	(株)武農林商会	42	栗城林業(株)	61	(株)ガイアワーク東北支店	74	遠野興産(株)
9	(株)クライス	30	真名畑林業(有)	43	会津西部林業(有)	62	双葉地方森林組合	75	(有)平子商店
10	(有)大須賀林業	31	(有)ウッド福生	44	(有)川島林業	63	株緑樹	76	常磐林業(株)
11	(有)星林業	32	(株)池田林業	45	(有)共和林業	64	(有)志賀林業	77	(有)井出林業
12	アブクマエコロジー(有)	33	(有)本郷林業	46	下郷町森林組合	65	吉田林業(株)	78	(有)豊田林業
13	(有)松崎産業	34	(有)諸橋林業	47	(株)ヤマシ	66	(有)ハヤマ森業	79	(有)近野林業
14	(有)水野林興			48	只見町森林組合			80	磐城造林(株)
15	(有)鈴木商事			49	和泉田造林組合				
16	ふくしま中央森林組合			50	佐藤造林				
17	株ミツヤマグリーンプロジェクト			51	南会津森林組合				
18	大屋林業(有)			52	(株)館岩工務所				
19	(株)出田創業			53	山星林業(株)				
20	白栄林業企業組合								
21	白西河地方森林組合								

発行：公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
 福島県林業労働力確保支援センター
 〒960-8043
 福島県福島市中町5番18号(林業会館内)
 TEL 024-521-3270
 FAX 024-521-3246
 メール fukusien@violin.ocn.ne.jp
 ウェブサイト <http://www.fukurin-net.jp/?cat=3>



平成30年2月発行